

コバス PCR スワブ検体採取セット Ⅲ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1 セット中※

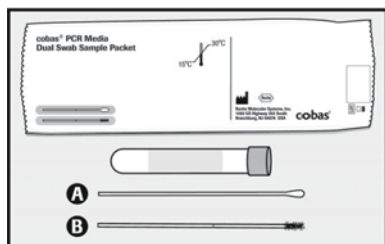
1. スワブパック

ドライスワブ:1本、フロックスワブ:1本
(ポリスチレンの柄にポリエステル綿球のついた綿棒)
下図を参照してください。

2. コバス PCR メディア 1×4.3 mL

塩酸グアニジン(40%以下)
トリス塩酸緩衝液

※ 本品は 100 セット入りです。



A ドライスワブ

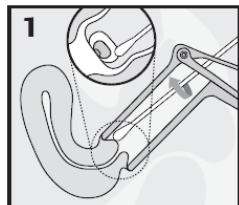
B フロックスワブ

【使用目的又は効果】

検査のための試料を採取することを目的とした器具

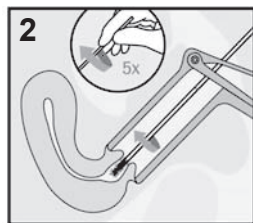
【使用方法等】

1. 子宮頸管擦過物検体の採取方法



スワブパック内のドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を拭い取ります。このスワブは廃棄します。

注意: 過剰な粘液を拭い取ることは正しく検体を採取する上で重要です。

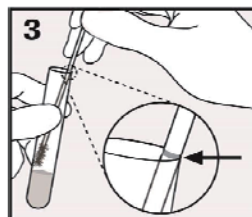


検体を採取するために、スワブパック内のフロックスワブを子宮頸管内に挿入します。

同じ方向に5回スワブをそっと回します。

回し過ぎないでください。

膣の粘膜に触れないように注意してスワブを引き抜きます。



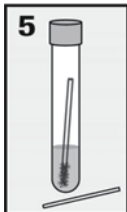
コバス PCR メディアのキャップを開けます。

スワブの先端が、コバス PCR メディアの溶液に浸からないように注意しながら、検体を採取したフロックスワブを入れます。フロックスワブの柄に付けられた線を容器の縁に合わせます。



コバス PCR メディアの容器の縁を利用して、フロックスワブの柄に付けられた線で折ります。

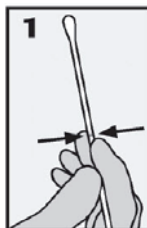
注意: 手に残った折れた柄は廃棄してください。



コバス PCR メディアのキャップをしっかりと閉めます。

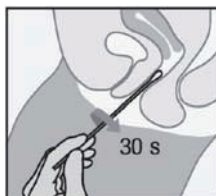
これで検体の保管又は輸送の準備ができました。

2. 腔擦過物検体の採取方法

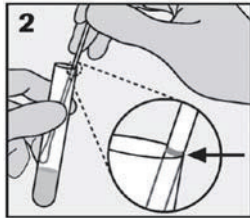


検体を採取するために、スワブパック内のドライスワブを取り出します。

片手でドライスワブの黒い線の下側の柄を持ち、膣口から5cmほど挿入します。



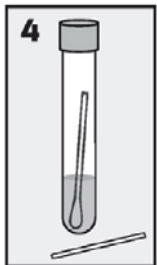
ドライスワブを腔壁にこすりつけるようにして時計回りに約30秒ほどゆっくりと回します。スワブを慎重に引き抜きます。



コバス PCR メディアのキャップを開けます。
採取したスワブの先端が、コバス PCR メディアの溶液に浸からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。

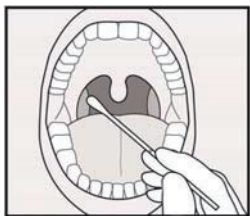


コバス PCR メディアの容器の縁を利用して、ドライスワブの柄に付けられた線で折ります。
注意：手元に残った折れた柄は廃棄してください。

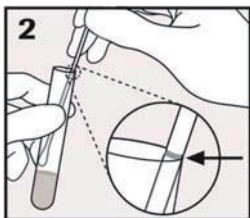


コバス PCR メディアのキャップをしっかりと閉めます。
これで検体の保管又は輸送の準備ができました。

3. 咽頭検体の採取方法



検体を採取するために、スワブパック内のドライスワブを口腔内に挿入し、後咽頭部及び扁桃腺、口蓋垂から検体を採取します。
口腔内に触れないように注意してスワブを引き抜きます。

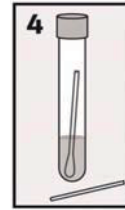


コバス PCR メディアのキャップを開けます。
スワブの先端が、コバス PCR メディアの溶液に浸からないように注意しながら、検体を採取したドライスワブを入れます。ドライスワブの柄に付けられた線を容器の縁に合わせます。



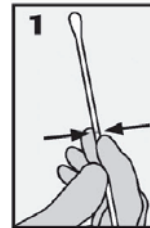
コバス PCR メディアの容器の縁を利用して、ドライスワブの柄に付けられた線で折ります。

注意：手元に残った折れた柄は廃棄してください。

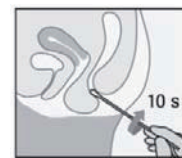


コバス PCR メディアのキャップをしっかりと閉めます。
これで検体の保管又は輸送の準備ができました。

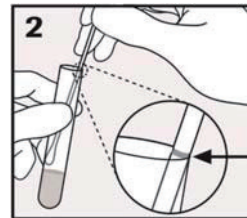
*4. 直腸検体の採取方法



検体を採取するために、スワブパック内のドライスワブを取り出します。
片手でドライスワブの黒い線の下側の柄を持ち、肛門から3-5cmほど挿入します。



ドライスワブを腸壁にこすりつけるようにして時計回りに約10秒ほどゆっくりと回します。スワブを慎重に引き抜きます。

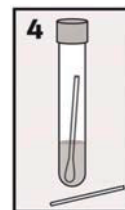


コバス PCR メディアのキャップを開けます。
スワブの先端が、コバス PCR メディアの溶液に浸からないように注意しながら、検体を採取したドライスワブを入れます。ドライスワブの柄に付けられた線を容器の縁に合わせます。



コバス PCR メディアの容器の縁を利用して、ドライスワブの柄に付けられた線で折ります。

注意：手元に残った折れた柄は廃棄してください。



コバス PCR メディアのキャップをしっかりと閉めます。
これで検体の保管又は輸送の準備ができました。

5. 検体の安定性

検体を保存した「コバス PCR メディア」は、2～30℃で12ヵ月安定です。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) スワブによる検体採取は、医師又は検体採取の資格を得ている医療従事者が実施してください。
- (2) 血液が大量に混入している検体では、偽陰性又は判定無効となる可能性がありますので注意してください。
- (3) 本品は滅菌済みですので、包装に破れ及びピンホールがあった場合には使用しないでください。
- * (4) 本品のセット内にはドライスワブとフロックスワブが同梱されています。
子宮頸管擦過物検体を採取する際には必ずドライスワブ、フロックスワブの順に使用してください。フロックスワブは粘液を除去するために設計されていません。また、腔擦過物検体、咽頭検体及び直腸検体を採取する際にはドライスワブを使用してください。フロックスワブは使用しないでください。
- (5) コバス PCR メディアは、塩酸グアニジンを含みます。誤って皮膚、目及び粘膜に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流してください。必要があれば医師の手当などを受けてください。
- (6) コバス PCR メディアに含まれる塩酸グアニジンは、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)などに触れないようにしてください。有毒ガスが発生します。
- (7) コバス PCR メディアの溶液を溢した場合には、すぐに水で希釈してから拭き取ってください。
- (8) コバス PCR メディアの溶液をつけたスワブは、絶対に検体採取に使わないでください。
- (9) 本品は必ず貯蔵方法に従って保存し、指定の条件以外で保存したものや使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

2. その他の注意

- * (1) 本品は、体外診断用医薬品の「コバス 4800 システム CT/NG」キット、「コバス 6800/8800 システム CT/NG 増幅・検出用試薬セット 480」キット及び「コバス TV/MG 増幅・検出用試薬セット 384」キットでの測定検体の採取と輸送を行うためのものです。それ以外の用途に使用しないでください。

**(注) それぞれのキットでの本製品の適用検体種は下記となります。
「コバス 4800 システム CT/NG」キット 子宮頸管擦過物検体、
「コバス 6800/8800 システム CT/NG 増幅・検出用試薬セット 480」キット 子宮頸管擦過物検体、
腔擦過物検体、咽頭検体、直腸検体、
「コバス TV/MG 増幅・検出用試薬セット 384」キット 子宮頸管擦過物検体、
腔擦過物検体

- (2) 感染を防ぐため、検体の採取及び取り扱いには必ず感染防止用保護手袋・保護眼鏡・保護衣などを着用してください。検体採取終了後は手をよく洗ってください。
- (3) 検体が身体に付着した場合には、洗浄と消毒を実施し、必要であれば医師の手当などを受けてください。
- (4) 使用済みコバス PCR メディア、又は未使用のコバス PCR メディアの廃棄に際しては、廃液及び廃棄物の関連法令に従って適切な処理を行ってください。
- (5) 検体採取済みのコバス PCR メディアの輸送に際しては、関連法令に従って適切な処理を行ってください。

【保管方法及び使用期間等】

1. 保管方法

15～30℃で保存してください。

2. 有効期間

24ヵ月

使用期限(Exp.)は外箱及び個包装に記載してあります。

[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

連絡先: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

カスタマーソリューションセンター

TEL: 0120-600-152

コバスは Roche の登録商標です。

その他の全ての製品名及び商標は、各所有者に帰属します。

